

川崎能楽堂

野村万蔵による芸能サロン

狂言を
楽しもう



◆ 2022年1月22日(土) 14時開演
◆ 主催 公益財団法人川崎市文化財団

今後の能楽公演予定

第125回 川崎市定期能 ~観世流~

●開催日:2022年3月12日(土)

第1部 12:30開場 13:00開演

狂言「鬼瓦」野村万蔵 能「井筒 物着」観世 芳伸

第2部 15:30開場 16:00開演

狂言「文荷」野村万蔵 能「融」観世 恭秀

●発売:2022年2月7日(月)10:00より発売

人間国宝の競演 ~友枝昭世と山本東次郎の至芸~

●開催日:2022年5月3日(火・祝)

●会場:川崎市麻生市民館大ホール

(小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分)

●演目:

解説 馬場あき子	能「隅田川」 友枝 昭世	狂言「麻生」 山本東次郎
-------------	-----------------	-----------------

●発売:

①アルテリッカ会員先行発売 ※2月26日(土)までに要会員登録(無料)
2月27日(日)よりアルテリッカしんゆりHP・電話で受付

②一般発売

2月28日(月)よりアルテリッカしんゆりHP・電話等で受付

アルテリッカしんゆりチケットセンター ☎044-955-3100

詳細は川崎・しんゆり芸術祭HPでご確認ください

<https://www.artericca-shinyuri.com/ticket/>

●お問い合わせ:川崎・しんゆり芸術祭2022実行委員会事務局

☎044-952-5024

第47回 川崎大師薪能

●開催日:2022年5月24日(火)

●会場:大本山川崎大師平間寺 特設舞台

(雨天時:信徒会館)

公益財団法人川崎市文化財団

川崎市幸区大宮町1310番地 ☎044-272-7366

※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

出演者略歴



野村 万蔵 【のむら まんぞう】

1965年生まれ。野村萬(人間国宝)の次男。父に師事。2005年、九世野村万蔵を襲名する。一門の組織萬狂言を主宰。古典はもとより、狂言と現代の笑いを融合させた南原清隆氏との舞台の演出や、歴史学者磯田道史氏との新作狂言の創作、また流派を越えた若手研鑽と交流を目的とした「立合狂言会」を立ち上げるなど、狂言の普及と発展に尽力する。さらには俳優として映画やドラマ(NHK大河ドラマ「西郷どん」)への出演など幅広く活動。重要無形文化財保持者総合認定。



野村 万之丞 【のむら まんのじょう】

1996年生まれ。九世万蔵の長男。祖父の萬及び父に師事。2017年、六世野村万之丞を襲名。3歳の時「靱猿」にて初舞台。2015年「奈須与市語」、2017年「三番叟」、2020年「釣狐」を披く。海外公演にも積極的に参加。狂言以外にもNHK大河ドラマ「西郷どん」への出演など、活動の場を広げている。能楽協会会員。



野村 万禄 【のむら まんろく】

1966年生まれ。野村萬の甥。野村萬に師事。2000年、二世野村万禄を襲名する。萬狂言九州支部代表。数多くの舞台を勤める傍ら稽古場開設や学校教育と連携した狂言の指導など、普及と発展に努めている。2010年福岡県文化奨励部門受賞。筑紫女学園大学・福岡教育大学非常勤講師。重要無形文化財保持者総合認定。



能村 晶人 【のむら あきひと】

1972年生まれ。能村祐丞の長男。野村萬及び故八世万蔵、九世万蔵に師事。既に数多くの秘曲・大曲を披く。海外公演にも多数参加。桜美林大学・尚美学園大学非常勤講師。重要無形文化財保持者総合認定。



河野 佑紀 【かわの ゆうき】

1990年生まれ。九世万蔵に師事。2016年「奈須与市語」を披く。東京を中心に多くの舞台を勤めるほか、出身地徳島にて「わろてな狂言会」を開催し普及につとめる。能楽協会会員。

◆あらすじ◆



「呂 蓮」

一夜の宿を借した旅の僧から話を聞き、その宿の主人は出家になることを希望します。親類や妻は了解済みというので、僧は主人の髪を剃り、名をつけてほしいといわれ、呂蓮坊と名付けます。そこへ妻が食事を運んで来て、主人の姿を見つけると…。



「隠 狸」

太郎冠者が内緒で狸をとって売っていると聞いた主人は、太郎冠者に真偽を確かめますがシラを切られます。そこで主人は、太郎冠者に市で御馳走用の狸を買ってくるよう命じます。狸釣りがばれる前に昨夜とった狸を売り払ってしまおうと、太郎冠者は狸を持って市へやってきましたが…。

狂言のお話

狂言

「呂 蓮」

僧

宿主

妻

休憩

狂言

「隠 狸」

主

太郎冠者

野村 万蔵

野村 万禄

能村 晶人

河野 佑紀

野村 万蔵

野村万之丞

